

患者説明文書

京都府内7施設における外来での尿路感染症治療の実態調査 (非介入後ろ向き他施設共同研究)へのご協力をお願い

1. 研究の目的と方法

尿路感染症は、腎から尿道に起こる主に細菌が引き起こす感染症で、肺炎に次に頻度の高い感染症です。軽症例では、経口抗菌薬による外来治療が行われます。尿路感染症の主な起炎菌は腸内細菌科細菌ですが、近年、薬剤耐性菌の増加が世界的に問題となっています。尿路感染症を起こす細菌や薬剤耐性の情報は、適切な抗菌薬を選択するための重要です。しかしながら、地域における原因微生物やその薬剤耐性、また使用されている経口抗菌薬の情報は乏しいのが現状です。今回、外来での尿路感染症治療について、細菌や使用薬剤などの情報を調査し、地域での外来尿路感染症治療を見直すきっかけになるよう取りまとめる予定です。

2. 調査を担当する薬剤師

京都第一赤十字病院薬剤部 船越真理、吉原由希

3. 調査の方法

尿路感染症と診断登録のある外来患者の尿培養から、検出微生物の種類や薬剤感受性、使用された抗菌薬の種類について、京都府内7施設(京都府立医科大学附属病院、京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都市立病院、京都桂病院、シミズ病院、綾部市立病院)で調査を行います。本調査の結果は、個人情報の保護に十分な配慮を行ったうえで、学会発表として公表する予定です。

4. 患者さまの利益・不利益（リスク）および同意取得

今回の調査の対象は、2021年4月1日から2022年3月31日に尿路感染症と診断された外来患者さんの通常の診療情報の解析のみを行うので、患者さんの利益・不利益は生じません。本調査への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に変えますが、ご同意いただけない場合は、調査から除外いたしますので、下記までご連絡ください。

5. 患者さま問い合わせ窓口（調査事務局）

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地

京都第一赤十字病院薬剤部 船越真理

電話 075-561-1121（代表）FAX 075-533-1260

6. 結果の公表

本調査のデータおよび結果は専門学会で発表いたします。